



2024年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年5月14日

上場会社名 株式会社フジオフードグループ本社
コード番号 2752 URL <https://fujiofood.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤尾 政弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 財務経理本部長 (氏名) 仁田 英策

TEL 06-6360-0306

四半期報告書提出予定日 2024年5月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第1四半期の連結業績(2024年1月1日～2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	7,852	5.4	445		439		382	
2023年12月期第1四半期	7,449	24.1	19		76		94	

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 425百万円 (%) 2023年12月期第1四半期 120百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	8.44	8.42
2023年12月期第1四半期	2.14	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期第1四半期	20,421	1,991	9.7	43.40
2023年12月期	20,287	1,432	7.0	31.14

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 1,972百万円 2023年12月期 1,411百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期		0.00		0.00	
2024年12月期					
2024年12月期(予想)					

(注) 2024年12月期の配当につきましては、未定とさせていただきます。

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日～2024年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,299	3.0	312	1,155.3	281		79		1.76
通期	30,655	3.0	800	105.3	711	140.3	163		3.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年12月期1Q	45,437,860 株	2023年12月期	45,337,860 株
-------------	--------------	-----------	--------------

期末自己株式数

2024年12月期1Q	74 株	2023年12月期	74 株
-------------	------	-----------	------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年12月期1Q	45,372,951 株	2023年12月期1Q	44,294,990 株
-------------	--------------	-------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、為替市場の円安進行やロシア・ウクライナ情勢の長期化、原材料や資源価格の高騰等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、人流の回復やインバウンド消費の拡大等により堅調な需要が続いているものの、食材価格やエネルギーコストの上昇、慢性的な人手不足等によって、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは、「大衆というカテゴリで日本一の外食企業となる」という確固たる目標のもと、既存事業の全体的な底上げを行うための商品開発、業態ごとの販売促進キャンペーン活動、店舗におけるサービス力向上を図るための教育・研修体制の強化等を行い、「まいどおおきに食堂」、「神楽食堂 串家物語」を中心とした全業態の経営成績の向上に全社一丸となって取り組みました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高78億52百万円（前年同期比5.4%増）、営業利益4億45百万円（前年同期は営業損失19百万円）、経常利益4億39百万円（前年同期は経常損失76百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億82百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失94百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

<直営事業>

直営事業におきましては、国内及び海外において「まいどおおきに食堂」、「神楽食堂 串家物語」、「麺乃庄 つるまる」、「さち福や」、「天麩羅 えびのや」等の事業展開を行っております。

当事業では、時間帯別売上分析による適切なシフトコントロールによってコスト削減を行うとともに、販売実績のABC分析から顧客ニーズを図りターゲットを狙った商品開発を行いました。また、季節フェアキャンペーンの推進、SNSやメディアを活用したブランド認知度の向上、既存店舗の美装改装等による集客力向上施策を実施し、全ブランドの既存店の業績改善に努めてまいりました。

以上の結果、直営事業全体の売上高は74億61百万円（前年同期比5.4%増）、セグメント利益は8億57百万円（前年同期比128.3%増）となりました。

<FC事業>

FC事業につきましては、加盟企業及び社員独立による営業委託者とのコミュニケーションを図りながら問題点の洗い出し・解消を図り、さらなる集客・売上の向上を目指しております。

主な活動といたしましては、フランチャイズ加盟開発の強化、現環境に適した業態への変更の提案等を行ってまいりました。また、更なる事業規模拡大に向け、直営店の売却・営業委託を積極的に進め、ストックビジネスの強化に努めてまいります。

以上の結果、FC事業全体の売上高は3億91百万円（前年同期比6.2%増）、セグメント利益は2億69百万円（前年同期比10.6%増）となりました。

当社グループの2024年3月末時点の店舗数は716店舗（直営店（国内）405店舗、直営店（海外）5店舗、委託店（国内）72店舗、F C店（国内）215店舗、F C店（海外）19店舗）となりました。

ブランド別の店舗数は以下のとおりです。

	直営店 (国内)	直営店 (海外)	委託店 (国内)	F C店 (国内)	F C店 (海外)	合計
まいどおおきに食堂	85	2	24	166	7	284
神楽食堂 串家物語	69	-	4	25	4	102
麺乃庄 つるまる	23	-	14	7	5	49
さち福や	35	-	3	6	2	46
天麩羅 えびのや	32	3	2	3	1	41
その他	161	-	25	8	-	194
合計	405	5	72	215	19	716

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産は1億34百万円増加し、204億21百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末から19百万円増加し、固定資産は1億14百万円増加しております。流動資産が増加した主な理由は、売掛金の増加44百万円、預け金の増加90百万円、現金及び預金の減少1億26百万円によるものであります。固定資産が増加した主な理由は有形固定資産の増加54百万円、投資その他の資産の増加87百万円によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して4億25百万円減少し、184億30百万円となりました。これは主に借入金の返済による減少4億33百万円によるものであります。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、新株予約権の行使による資本金及び資本準備金の増加等により、前連結会計年度末と比較して5億59百万円増加し、19億91百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2024年2月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,380	6,254
売掛金	567	612
棚卸資産	168	136
前払費用	261	266
未収入金	176	210
預け金	1,287	1,377
その他	261	265
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	9,101	9,121
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,056	16,139
減価償却累計額	△8,737	△8,785
減損損失累計額	△3,465	△3,473
建物及び構築物 (純額)	3,853	3,879
工具、器具及び備品	5,311	5,316
減価償却累計額	△4,689	△4,689
減損損失累計額	△485	△485
工具、器具及び備品 (純額)	135	141
土地	740	740
建設仮勘定	-	0
その他	402	427
減価償却累計額	△378	△380
その他 (純額)	24	46
有形固定資産合計	4,754	4,808
無形固定資産		
のれん	1,367	1,342
その他	35	32
無形固定資産合計	1,402	1,375
投資その他の資産		
投資有価証券	402	404
関係会社株式	122	129
繰延税金資産	16	16
敷金及び保証金	3,532	3,535
その他	1,171	1,241
貸倒引当金	△215	△211
投資その他の資産合計	5,028	5,116
固定資産合計	11,185	11,300
資産合計	20,287	20,421

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,422	1,454
短期借入金	3,500	3,500
1年内返済予定の長期借入金	1,452	1,315
未払金	1,387	1,360
未払費用	541	558
未払法人税等	112	101
未払消費税等	381	305
株主優待引当金	299	260
資産除去債務	40	34
その他	367	459
流動負債合計	9,503	9,350
固定負債		
長期借入金	7,324	7,027
リース債務	19	37
資産除去債務	1,095	1,086
預り保証金	236	232
繰延税金負債	133	151
持分法適用に伴う負債	500	500
債務保証損失引当金	19	24
その他	22	20
固定負債合計	9,351	9,079
負債合計	18,855	18,430
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,627	2,694
資本剰余金	3,332	3,399
利益剰余金	△4,610	△4,227
自己株式	0	0
株主資本合計	1,348	1,866
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	38
為替換算調整勘定	60	67
その他の包括利益累計額合計	63	105
新株予約権	15	14
非支配株主持分	4	5
純資産合計	1,432	1,991
負債純資産合計	20,287	20,421

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上高	7,449	7,852
売上原価	2,684	2,737
売上総利益	4,764	5,115
販売費及び一般管理費	4,783	4,670
営業利益又は営業損失(△)	△19	445
営業外収益		
受取利息	0	0
賃貸収入	1	1
持分法による投資利益	5	7
雇用調整助成金	0	-
その他	7	19
営業外収益合計	14	29
営業外費用		
支払利息	21	22
賃貸収入原価	0	0
支払手数料	47	-
その他	1	12
営業外費用合計	72	35
経常利益又は経常損失(△)	△76	439
特別利益		
固定資産売却益	0	1
受取立退料	35	39
固定資産受贈益	19	-
持分変動利益	53	-
債務保証損失引当金戻入額	16	-
その他	-	1
特別利益合計	124	42
特別損失		
店舗解約損	68	11
固定資産除却損	0	0
減損損失	22	9
貸倒引当金繰入額	20	-
特別損失合計	110	21
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△62	461
法人税等	32	78
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△94	383
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△94	382

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△94	383
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22	35
為替換算調整勘定	2	7
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	△0
その他の包括利益合計	△25	42
四半期包括利益	△120	425
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△120	425
非支配株主に係る四半期包括利益	-	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間において、第14回新株予約権の権利行使により、資本金及び資本準備金がそれぞれ67百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が2,694百万円、資本剰余金が3,399百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	直営事業	F C事業	計		
売上高					
まいどおおきに食堂	1,213	-	1,213	-	1,213
神楽食堂 串家物語	2,045	-	2,045	-	2,045
麺乃庄 つるまる	240	-	240	-	240
さち福や	696	-	696	-	696
天麩羅 えびのや	494	-	494	-	494
その他	2,390	-	2,390	-	2,390
F C加盟金売上	-	45	45	-	45
F Cロイヤリティ売上	-	153	153	-	153
F Cイニシャル売上	-	17	17	-	17
F Cランニング売上	-	151	151	-	151
顧客との契約から生じる収益	7,080	368	7,449	-	7,449
その他の収益	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	7,080	368	7,449	-	7,449
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	7,080	368	7,449	-	7,449
セグメント利益又は損失(△)	375	243	618	△638	△19

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△638百万円は、各報告セグメントに配分できない全社費用であります。全社費用の主なものは、提出会社の管理部門等の経費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第1四半期連結累計期間において、直営事業について閉店の意思決定による22百万円の減損損失を計上しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	直営事業	F C事業	計		
売上高					
まいどおおきに食堂	1,246	-	1,246	-	1,246
神楽食堂 串家物語	1,984	-	1,984	-	1,984
麺乃庄 つるまる	259	-	259	-	259
さち福や	795	-	795	-	795
天麩羅 えびのや	535	-	535	-	535
その他	2,640	-	2,640	-	2,640
F C加盟金売上	-	38	38	-	38
F Cロイヤリティ売上	-	177	177	-	177
F Cイニシャル売上	-	18	18	-	18
F Cランニング売上	-	156	156	-	156
顧客との契約から生じる収益	7,461	391	7,852	-	7,852
その他の収益	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	7,461	391	7,852	-	7,852
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	7,461	391	7,852	-	7,852
セグメント利益	857	269	1,126	△681	445

- (注) 1. セグメント利益の調整額△681百万円は、各報告セグメントに配分できない全社費用であります。全社費用の主なものは、提出会社の管理部門等の経費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 前第2四半期連結累計期間より売上高の表示区分を変更しております。各ブランドの売上高構成比の増減を鑑み「その他」に含まれていた当社のサブブランドであります「さち福や」「天麩羅 えびのや」を新たに表示し、「手作り居酒屋 かっぱうぎ」を「その他」へ含めております。なお、前第1四半期連結累計期間の売上高表示区分については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第1四半期連結累計期間において、直営事業について閉店の意思決定による9百万円の減損損失を計上しております。

(重要な後発事象)

(譲渡制限付株式報酬としての新株式の発行)

当社は、2024年4月26日開催の取締役会において、譲渡制限付株式報酬としての新株式の発行を行うことを決議いたしました。

発行の概要

(1) 払込期日	2024年5月24日
(2) 発行する株式の種類及び数	当社普通株式 14,061株
(3) 発行価額	1株につき1,422円
(4) 発行総額	19,994,742円
(5) 株式の割当ての対象者及びその人数 並びに割り当てる株式の数	当社の取締役(社外取締役を除く) 5名 11,953株 当社の取締役を兼務しない執行役員 4名 2,108株
(6) 譲渡制限期間	2024年5月24日から2054年5月23日まで